

～投資初心者以外の方も必見～






“5つのキーワードで理解”
『投資信託の超基本』



FLYING ACE ACADEMY

資産形成チャンネル

投資信託における 5つのキーワード

-  1. 基準価額と純資産
-  2. 分配金
-  3. 信託期間
-  4. 運用方針
-  5. コスト（費用）

基準価額と純資産

基準価額とは

投資信託の一口あたりの値段のことで、投資家が投資信託を購入・換金する際は、基準価額で取引が行われる。（1口1円で運用が開始された投資信託は、1万口あたりの基準価額を公表）

純資産総額

総口数

=

基準価額（一口あたりの価額）

投資信託の資産のうち、投資家に帰属する額を「**純資産総額**」といいます。この純資産総額を投資信託の総**口数**で割ると、一口あたりの価額、すなわち「**基準価額**」が算出されます

投資信託の分配金とは

投資信託には、「**分配金**」と呼ばれるお金を、投資信託の決算が行われる際に支払う仕組みがある。

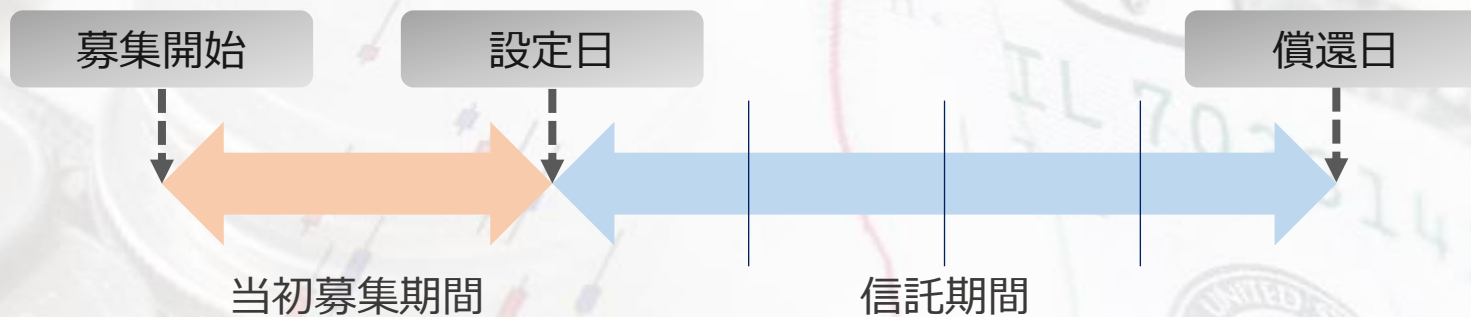
分配金は、投資信託が株式や債券に対して投資し、運用して得た収益を、保有口数に応じて投資家に分配するもの



分配金は、投資信託の信託財産から支払われる。そのため、分配金が支払われると、「純資産総額」および「基準価額」は下落する。

信託期間とは

「信託期間」とは、投資信託の運用がスタートする「設定日」から、運用が終了する「償還日」までの期間。「信託期間」が終了すると投資信託は「償還」する。



※「償還延長」といって信託期間が延長されるケースや、当初設定された償還日から繰り上げて償還されることもあるので、注意が必要

運用方針

分類	アクティブファンド		インデックスファンド
運用方針	アクティブ	パッシブ	パッシブ運用
運用目標	指数（※）を上回る パフォーマンスを目指す		指数（※）に連動する パフォーマンスを目指す
投資判断	ファンドマネージャー （運用担当者）が判断		指数構成銘柄に投資
コスト	割高		割安
投資のポイント	売買回転率	銘柄保有率	指数の選定

※指数とは日経225（日経平均株価）東証株価指数（TOPIX）やS&P500といった取引所全体や特定の銘柄群の株価の動きを表すもの≡株価指数

投資信託のコスト（費用）

購入時

販売手数料

0%～3%程度



投資信託を購入する際に販売会社に支払う手数料で、購入代金とは別に徴収される。購入代金に所定の料率をかけた金額を負担。

保有時

信託報酬

年率0.1%～2%程度



委託会社



販売会社



受託会社

運用管理費用とも呼ばれ、投資信託を保有している間にかかってくるコスト。保有額に応じて、所定の料率をかけた金額が徴収され、販売会社・運用会社・受託会社へ支払われる。

解約時






信託財産留保額

年率0%～0.5%程度



一般的に投資信託の解約時に徴収され、解約代金に所定の料率をかけた金額を負担。


投資信託における
5つのキーワード

-  1. 基準価額と純資産
-  2. 分配金
-  3. 信託期間
-  4. 運用方針
-  5. コスト（費用）